



和田の
世帯数・人口

世帯数	1,431 戸
人口	4,169 人
男	2,023 人
女	2,146 人

(平成 28. 7. 1 現在)

6月の行事あれこれ(裏面にも)

初夏の小谷を訪ねて

6月6日、天気もますます、初夏の日ざしの中、小谷村にてわらび狩りをさせていただきました。険しい場所を想像していましたが、現地までは車で行くことができ、とても歩きやすい丘のようなところでした。とても楽しく若いころわらび狩りをしたときのことを思い出し、自分の年も忘れ無我夢中で採りました。ほど良い汗をかき満足感をえました。

その後、そば打ち体験をさせていただきました。私たちの打ったそばは二八そばでした。そば粉をまぜる・こねる・のぼす・切る・ここまでを体験し、茹でてもらっておいしくいただきました。細い太いはありませんが、実際にやってみるととても繊細な食べ物ということがよく分かりました。

初めて参加させていただきました



ましたが、一日ありがとうございました。こんな機会があればまた参加したいと思えます。もっと多くの方に参加していただき楽しい一日にできたらと思います。

中 小林 薫



小谷村臨地学習会に参加して

一、わらび狩り

2人の案内人が、参加者6人を、予約を受けて指定された場所へ案内。「配付した袋に上手に入れたら5kg位入るから遠慮なくいいものを採ってよ。」の合図で、「よし、行くぞ。」とばかりにわらび狩りの開始。以前誰かに、座って採れる所があると聞いたこ

とがあつた。座ったまま手を伸ばせば、採れること、採れること。もしかして、ここがその場所かも。一緒に参加したおばさんが「楽しい」を連発する気持ちがよく分かりました。路も採れ、みんな「もう沢山」というくらいの収穫に満足。

二、そば打ち体験

食うが趣味の自身は、妻から借りたエプロンをまとい、身支度だけは万全でそば打ち初挑戦。

ご当地のそば打ち名人と、小谷に嫁いであらそば打ちを始めたという若妻らしき2人のご指導により、我ら参加者3人1組で打ったそばのできあがりは、細め、普通、太めとアンバランスで、決して見てくれは良いとはいえなかったが、これがどうしてどうして、なぜか「うまくて」満足満腹。

三、結びに一言

公民館長と主事が一生懸命企画された今回の学習会でしたが、予想外に参加者が少なく、バスの座席がもったいなく寂しく思いました。次回は声を掛け合って、せめて座席が半分くらいは埋まる参加を期待しています。

中 松澤 三郎

プロの歌声を肌で感じた ファミリーコンサート



ふわっとした花びらの、ピンクのバラの花が咲いたようなドレス姿で、ソプラノ歌手城倉明日香さんがステージに登場。その場が、パツと明るくなりました。グレーのシンプルなラインのドレス姿の、ピアノ奏者岩崎純子さんの伴奏で、J・S・バッハ作曲「主よ人の望みの喜びよ」が歌われました。張りのある豊かな響きの歌声です。二曲目はピアノ独奏、ドビュッシー作曲「垂麻色の髪の乙女」です。やわらかな音色で軽やかなタッチの演奏でした。このように前半のプログラムは、ソプラノ独唱とピアノ独奏が交互に組まれており、しかも、私たちがよく耳にする曲でしたので心地よく、楽しく聴きました。

休憩をはさんで後半は「みんな一緒に歌いましょう」ということで「みかんの花咲く丘」から「故郷」まで十一曲を、会場の全員で歌いました。歌詞カードを見ながら心

ひとつに、思いきり気持ちよく、次から次へと歌いました。「あー楽しかった。」

中 上條 美奈子

ふれあいスポーツ大会

6月19日(日)、公民館役員の親睦を深めるため、ふれあいスポーツ大会が開催されました。雨天のため、芝沢体育館で「ワンバウンドふらばーるバレーボール」を実施しました。聞き慣れないと思いますが、老若男女誰でもできるスポーツです。初めて行う方がほとんどでしたが、習ううちに慣れるということで、実際に経験しながらルールを覚えてもらいました。ところが、試合になると、普通のバレーボールのルールでプレーしてしまい、ミスすることもしばしば。試合後の慰労会も含めて、笑いがいっぱい楽しかった。ご参加いただいた方々にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



ナイスレシーブ!

下和田 萩原 誠二郎
(体育委員長)

地域に広がりはじめた 不用食器回収活動

6月26日(日)に和田公民館の駐車場で2回目となる不用食器の回収が行われました。衣外の吉田恵美子さんを代表とするグループが取り組んでいる活動です。本や不用になった衣類のリサイクル等の話題はよく耳にしますが、食器の回収活動に自主的に取り組んでいるのは、松本市内では波田地区、松原地区と和田の3地区だけだそうです。

当日はスタッフ・ボランティア合わせて11名で回収を行いました。9時過ぎから不用食器の持ち込みが始まると、持ち込まれた食器はその場ですぐに分別されます。状態の良いものは再利用(リユース)できる方へ、それ以外のものは再資源(リサイクル)の方へと。再資源化されるものは、9月に波田地区、松原地区の回収分と合わせて美濃焼の工場へ運ばれます。そこで粉碎されて粘土になり成形されて新しい食器等に生まれ変わります。

状態が良く再利用できる食器は駐車場の一角に設けられた再利用コーナーに並べられます。誰でも自由に持ち帰ってよいとのこと、思いがけ

ない掘り出し物に出会うこともあるそうです。この日も枚数の揃ったお皿や、これが不用品?と思われるような食器もあり、見るだけでも楽しく食器好きの人にはたまらないようでした。

今回は2回目の不用食器回収ということで30人程が回収に協力してくれました。なかには軽トラックに積んで二度三度と持ち込んでくれる人もいて、スタッフは嬉しい悲鳴をあげていました。ゴミ収集日に出せば埋立ゴミですが、ゴミとして出すにはちよつと勿体ない。思い出もあるし：何かやりようがあるのではないか、やってみようかと始まった活動。小さな一歩から始まった活動ですが少しずつ輪を広げ、和田の中に根を下ろしてきているようです。

衣外 上條 せい子

不用品も
活かせば資源
(リサイクル)



よかったら
どうぞ
(リユース)

楽しかった 地いきたんけん

5月13日(金)



今日、地いきたんけんに行きました。心にのこったところがあります。それは、和田の公みんかんです。私は、和田じどうセンターに行つていて、よく来る所ですが、二つの発見がありました。一つ目は、図書かんの本のかずです。本のかずは、わからないほどたくさんでした。その中には知らない本、知っている本いろいろありました。本がたくさんあることがわかって、よかったです。

二つ目は、ふくしひろばに、たつきゅう台があったことです。ふくしひろばに入ったことはありますが、たつきゅう台があることは知らなかったです。また、家ぞくで来て、たつきゅうをやりたいです。地いきたんけんでは、ほかにも和田じんじや、くぼ田うつぼきねかん、和田小学校あとちにも行きました。いい思い出になりました。

小3 西原 小野 紡実
(和田の文化財に興味を持ち、4回も公民館を訪れてくれた皆さんの学ぼうとする意欲に感心しました。)

★お知らせ★

○7月10日(日)に行われた夏季スポーツ大会の結果は、次の通りです。

・ソフトボール(男子)

優勝 蘇我
準優勝 衣外

・トリムバレーボール(女子)

優勝 蘇我
準優勝 西原
3位 境



トリム
バレーボール

○今年度の和田地区芸術文化祭は11月6日(日)に開催予定です。

皆さまの作品展示や、ステージ発表が主役です。で、今からご準備をお願いします。特に、作品展示は出品数が減少していますので、是非積極的な出品をお願いします。詳細については別途チラシを配ります。

○和田公民館では、仕事や趣味等で培った経験・知識・特技をお持ちの方の情報を集めています。自薦・他薦問いませんので、積極的に情報を寄せてください。詳細は、6月1日全戸配布のチラシをご覧ください。

編集後記

記事にもありますように、6月はたくさんの方の行事がありました。編集委員で分担を決め取材をしましたが、原稿をお願いすると、みなさん快く引き受けてくださり感謝しています。せっかく寄稿していただいたのに、紙面の都合で掲載できなかった文章もあります。次回以降に掲載していきたいと思っておりますのでご了承ください。これからもご協力よろしくお願いいたします。

蒸し暑い日が続いています。どうぞ熱中症に気をつけて健康でお過ごしください。

上條・長谷川・萩原